

第8 就労サポートセンターさつき

1 概況

当事業所の理念である「地域社会と協調し、創造力豊かなサービスをとおして、働く喜びを分かち合います」に基づき、就労支援に特化した事業所として、就労移行支援事業、就労継続支援A型事業、就労継続支援B型事業及び就労定着支援事業を実施し、利用者が地域において自立した生活を送るための支援や一般就労に必要なスキル習得への支援を行い利用者の確保に努力した。

生産活動は、農産・請負班、清掃・請負班、リサイクル班及び給食班の4班体制で実施した。農産・請負班の水稲事業では、播種から刈取作業まで順調に進捗し、収穫量は約34トン（約578俵）（目標48トン）となり、昨年より45トン（約757俵）を下回った。このうち、主力品種である「まっしぐら」は、10a当たり（1000㎡・1反）7俵を収穫した。リサイクル班は、農産・請負班と連携して薪の生産に取り組んだ。清掃・請負班においても、事業所清掃終了後はほたて養殖用資材加工のほか薪生産に取り組んだ。給食班は、利用者及び職員（希望者のみ）に対する昼食提供に取り組んだ。

就労支援事業収入全体では、新規生産活動の給食班を含め、約800万円の収入増を達成し、利用者の工賃は増額することができた。

地域貢献等については、コロナ感染防止策のため近隣住民との交流活動イベントは実施することができなかったが、平内町の地場産業に貢献する作業を生産活動に組み入れ地域と一体となり事業を展開した。

定員に対する利用率は、就労継続支援A型事業において74%だったものの、その他の事業利用者数が増加し、全体で96%（目標90%以上）となった。

令和4年度新規利用者の獲得は、実習等の積極的な受け入れにより1名（目標2名）となった。

薪販売総額は、2,325,990円となり前年（1,292,800円）比5%増の目標を上回った。

事業所の収支差額は、一般就労決定者数に対して、新規利用契約者数が伸びず、総収入額の1割以上の目標を達成できなかった。

2 重点事項の実施状況

(1) 利用者の獲得

① PR動画の作成

コロナ感染防止対策により事業所見学ができない実情を踏まえ、事業所のPR動画を作成し、特別支援学校や相談支援事業所にPRした。

② 利用者「女子会」の実施

女子利用者獲得を目的として、保護者等のボランティアも活用し、女子利用者の視点の「創造力を発揮する時間」を設置した。年間合計24回開催、延べ129名の女子利用者が参加し、年度内に女子利用者1名（A型）を獲得した。

(2) 生産活動用設備の増備

米刈取用コンバインの老朽化に伴い、新規リースにより更新した。また、薪伐採場所の林道設置及び水稲作付面積の拡大を目的として、バックホーン（ミニショベル）を購入した。

(3) スポーツ活動用設備の増設

スポーツシーンに触れ合う機会が激減したため、スポーツ用具を事業所内に常設して、昼休み等の空き時間で気軽にプレイできる環境を整備した。

(4) 就労移行支援事業強化のための基盤づくり

一般就労を目指す利用者に利用してもらうため、就業・生活支援センター等との連携を密にし、4名の利用者を一般就労させた。

(5) すこやか生活塾の開設

障害の有無を問わず、学習に励みたい方に対して、事業所の既存の機能を活用した「居場所の提供」と「将来の目標達成のための後方支援」を行った。利用実員2名、延利用日数142日の実績があった。

3 職員の状況

職名	所長	主任 支援員	副主任 支援員	支援員	事務員	調理員	労務員	運転員	合計
職員数	(1)	1	1	5	2	1	3	4	17

※所長は事務局長が兼務しているため、合計には含んでいない。

4 利用者の状況

(人)

区分	就労移行 支援事業	就労継続支援 B型事業	就労継続支援 A型事業	合計	就労定着 支援事業
定員	6	15	10	31	
年度当初 利用者数	7 (男7・女0)	18 (男13・女5)	8 (男7・女1)	33 (男27・女6)	3 (男3・女0)
年度末 利用者数	7 (男6・女1)	21 (男17・女4)	9 (男7・女2)	37 (男30・女7)	2 (男2・女0)

※平均年齢(令和3年度末) = 全体: 37歳 (男性: 36歳・女性: 45歳)

5 事業の実施状況

(1) 事業概要

① 就労移行支援事業

一般就労を希望する方に、職場実習や一定期間の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行った。

期間	人数	実習場所
7/12~7/14	1	イオン東北(株) MaxValu 平内店
8/20~8/25	2	JR盛岡鉄道サービス(株) 新幹線青森営業所リサイクル場
9/28	3	平内いきいき健康館よごしやま温泉
11/24~11/26	6	大西商店
11/29~12/1	6	大西商店
12/6~12/8	5	大西商店
11/29~12/1	4	大西商店
2/1~2/4	3	ウッドラック
2/7~2/10	6	ウッドラック
2/15~2/18	6	ウッドラック
2/22~2/25	6	ウッドラック

② 就労継続支援A型事業

一般企業等での就労が困難な方に、雇用して就労する機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練等を行った。

③ 就労継続支援B型事業

一般企業等での就労が困難な方に、就労する機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練等を行った。

(2) 生産活動の売上状況 (円)

班名	令和3年度(A)	令和2年度(B)	前年比(A-B)
農産・請負班	13,251,938	11,330,378	1,921,560
清掃・請負班	753,600	753,600	0
リサイクル班	11,007,666	7,085,681	3,921,985
給食班	2,249,000	0	2,249,000
計	27,262,204	19,169,659	8,092,545

(3) 工賃及び賃金の支給状況

区分	就労移行支援		就労継続支援B型		就労継続支援A型	
	延人数 (人)	支給金額 (円)	延人数 (人)	支給金額 (円)	延人数 (人)	支給金額 (円)
年間合計	87	1,562,330	228	4,172,530	103	8,570,716
1人当たり 月平均額	7.3	17,957	19.0	18,300	8.6	83,210

注：月途中の契約開始及び解除利用者は除外している。

(4) 就職に向けた取組

月日	人数	見学先
5/27	2	みちのく銀行Pastel
6/14	2	(株) ヤマイシ
7/16	3	JR盛岡鉄道サービス (株) 新幹線青森営業所リサイクル場
7/21	1	(株) 青森銀行
7/30	1	秀英商事 (株)
12/22	1	(株) 青森銀行

(5) 余暇支援等 (行事関係)

月	レクリエーション (土日開所)	地域交流活動等
4月	・保護者懇談会 (17日)	茂浦地区清掃 (17日)
5月	・夜越山クロスカントリー (3日) ・春のバーベキュー第1弾 (8日) ・浅虫水族館見学 (15日) ・春の大掃除 (22日) ・春のバーベキュー第2弾 (29日)	だいすき海岸清掃奉仕 (1日)
6月		
7月	・スポーツ吹き矢体験 (3日) ・地引網体験 (10日) ・夏のバーベキュー第1弾 (24日)	◎夏泊ほたて海道トンネルマラソン施設 開放 (18日)
8月	・調理体験 (パフェ作り) 及び障害者ス ポーツ練習 (7日)	◎だいすき海岸清掃奉仕 (1日)

	<ul style="list-style-type: none"> 夏のバーベキュー第2弾 (21日) 調理体験 (お好み焼き・焼きそば作り) 及びバスケットボール体験 (29日) 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ソフトダーツ体験 (11日) 調理体験 (チーズフォンデュ作り) 及び映画鑑賞 (25日) 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> 調理体験 (ピザトースト作り) 及びコロコロドッチボール体験 (16日) 秋のバーベキュー (30日) 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ジャベリックスロー体験及びアクセサリー製作体験 (13日) 調理体験 (お好み焼き作り) 及びフライングディスク体験 (27日) 	◎だいすき海岸清掃奉仕 (1日)
12月	<ul style="list-style-type: none"> 調理体験 (ホットケーキ作り) 及び卓球体験 (4日) 利用者忘年会 (11日) 	
1月	<ul style="list-style-type: none"> AW ボウリング大会 (8日) 調理体験 (いちご飴作り) 及び映画鑑賞 (9日) 調理体験 (ハンバーガー作り) 及びドッチボール体験 (22日) 調理体験 (クレープ作り) 及びサッカー体験 (23日) 	◎茂浦青年団権現舞訪問 (17日)
2月	<ul style="list-style-type: none"> ソフトバレー体験 (5日) 調理体験 (餃子作り) 及びバスケットボール体験 (19日) 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> 利用者歓送迎会 (26日) 	

(6) 送迎体制

コース名	行き先
平内町 (野辺地)	小湊、清水川、野辺地
青森市内 (東方面)	小柳、戸山、諏訪沢
青森市内 (山通り)	観光通り、筒井、戸山
青森市内 (浜通り)	青森駅、浪打、八重田

(7) ボランティアの受入

利用者女子会において、すこやか生活塾の利用者をボランティアとして年間延べ12人受け入れた。

(8) 苦情解決事業等

毎月1回、第三者委員 (4人) と面談する機会を設けたほか、随時相談を受ける体制を整備した。なお、実施については虐待防止対応規程と連動し対応した。

区分	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計 (件)
受付件数	0	0	0	0	0
解決件数	0	0	0	0	0
繰越件数	0	0	0	0	0

(9) 健康管理

次亜塩素酸ナトリウム水溶液による施設内消毒を実施したほか、うがい薬によるうがいと手洗い及びアルコール消毒を利用者に励行し、また、感染症の流行期間においては、利用者に対して感染症の予防方法など説明するなどして注意を促し、感染の防

止に努めた。

新型コロナウイルス蔓延防止対策として、厚生労働省の通知に基づき、毎朝自宅において検温し、発熱していないことを確認してから送迎車両に乗ることを徹底した。事業所では外部の訪問者は玄関までとし、事業所内はすべて職員が中継して対応した。

(10) 安全管理・防災対策

火災による避難訓練を年2回（8月17日、1月31日）、不審者対応訓練を年1回（1月31日）、津波想定避難訓練を年1回（3月24日）実施し、利用者の安全確保に努めた。また、3月24日、災害備蓄食を利用者本人が実際に準備して喫食する訓練を実施した。

(11) 所内会議等

会議名	回数
質の向上推進会議	年6回
給食会議	毎月1回
事業所会議	毎月1回

(12) 職員研修関係

事業所内での勉強会や法人内他部署での実地研修をはじめ、県内で実施する各種研修等に職員を派遣した。

また、支援技術や生産技術の向上を図るための専門的な研修へも積極的に派遣した。

(13) 広報関係

- ① パンフレット・事業概要作成配布
- ② 広報紙「でんでん」年3回発行配布
- ③ ホームページ開設
- ④ 見学者（養護学校教諭・生徒）の積極的な受入れ

(14) 放課後子ども教室（平内町からの受託事業）の運営状況

- ① 営業日 毎週月～金曜日
- ② 営業時間 14:30～18:00（ただし、小学校長期休業期間は8:00～17:00）
- ③ 利用契約者 26人
- ④ 協働活動支援員 5人
- ⑤ 地域コーディネーター 1人

【令和3年度の実績】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数 (A)	20	18	22	19	20	20	21	19	20	17	18	22	236
	21	18	21	21	16	18	19	17	20	17	15	23	226
延利用者数 (B)	120	84	101	142	213	104	99	84	114	144	45	112	1362
	140	71	65	119	112	48	53	50	79	74	36	69	916
1日当たりの 平均利用者数 (B÷A)	6.0	4.7	4.6	7.5	10.7	5.2	4.7	4.4	5.7	8.5	2.5	5.1	5.8
	6.7	3.9	3.1	5.7	7.0	2.7	2.8	2.9	4.0	4.4	2.4	3.0	4.1

※上段：当年度、下段：前年度